

福祉職員にPCR検査

4.2万人超が対象

札幌市

北海道支局

札幌市は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予防するため、高齢者施設、障害者施設および療養型医療機関の全職員に対して定期的にPCR検査を実施する。

札幌市の陽性者数累計は1万1369人で死亡者は308人（2月24日現在）。新規感染者は減少傾向にあるものの、これまで高齢者施設や障害福祉サービス事業所でクラスター（感染者集団）が発生しており、年度替わりに人の移動増加が見

老人保健施設、グループホームなど高齢者関連404施設1万8000人と、障害者支援施設、障害児入所施設など32施設1700人に、療養型医療機関149施設2万2500人の合計4万2200人。

検査は札幌市北区あいの里に昨年12月に開設された民間検査施設で行う。専用キットで唾液を検査施設に送るもので、4月から半年間、月1回程度実施する予定。費用は1回2000円で、検査費用は全額札幌市が負担する。事業費は5億9500万で今年度一般会計補正予算に盛り込まれた。

同市介護保険課によると「定期的な検査により早期に発見し、感染により重症化が心配な高齢者などのクラスター化を防ぐのが狙い。すでに2月から高齢者施設30カ所で検査を試行中」とのこと。事業の効果が期待される。

（西島和明）